

一中学生の最善最高の自覚と実践 NO13(R5.3.24)

○校長より 『一年間を振り返って』

早いもので、3月24日(修了式等)で今年度の授業等は終わりになります。コロナ禍ということで、給食の黙食であったり、オンラインでの集会活動であったり、様々な制限の中での学校生活となりました。しかし、そのような中でも生徒たちは頑張る姿・成長した姿をたくさん見せてくれました。中体連(部活動)、体育大会、合唱コンクール等では、団結して勝利(金賞)目指して頑張る姿がありました。日常生活においては、自分から気持ちの良い「あいさつ」ができる生徒も増えました。改めて、一中学生のパワー・可能性を強く感じた一年でした。

反面、課題も残りました。「学力向上」と「不登校」という大きな課題です。学習内容がわからず(できずに)苦しんでいる生徒への手立てが十分ではなかった。家庭学習の充実に向けた取組を徹底してできなかった。生徒同士のつながり、生徒と先生とのつながりを強める取組ができていたのか。その他にも、校長として反省すべき点が多々あります。ただ、このような状況でも、保護者(PTA)の皆様をはじめ地域の皆様から温かいご支援・ご協力をいただきました。そのおかげで一年をどうにか終えようとしています。本当にお世話になりました。次年度も課題解消に向けて懸命に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

☆最善

『一中パワー！2年クラスマッチ！！』



☆最高

『白熱展開！1年クラスマッチ！！』



☆自覚

『将来を考える！職業講話！！』



☆実践

『心を育てる！せせらぎ水路植栽活動！！』

